



# 日本薬剤疫学会を通じた ISPE 会員登録のご案内



2018.09 日本薬剤疫学会

毎年9月頃から年末にかけて日本薬剤疫学会（JSPE）の年会費の納入を会員にお願いしていますが、これにあわせて2010年から「日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録」についてもご案内させていただきます。

## A. 日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録のメリット

**A1. 年会費の減額：**ISPE 年会費 \$275→\$225 に減額

**A2. 国際薬剤疫学会学術集会（ICPE）などの登録料の減額の可能性：**

ICPE など ISPE が主催する学術集会の登録料の減額はそれぞれの運営委員会に委ねられており不確定ですが、2018年の第34回 ICPE（チェコ、プラハ）の登録料については以下のような減額措置がとられました。

カテゴリ	7/13まで	8/3まで	On site
Industry	\$1350 (-\$230)	\$1470 (-\$289)	\$1710 (-\$469)
Academia/ Government	\$1200 (-\$80)	\$1440 (-\$259)	\$1680 (-\$439)
JSPE	\$895	\$956	\$1016

赤字は JSPE 会員の登録料の（所属が academia/Government か Industry かを問わない）年会費支払い時の減額分（\$50）に追加された減額巾。JSPE 以外は学術総会参加費には年会費が含まれており、たとえば 7/13 までの Academia/Government については追加減額がないと 1200-225=975 ドルになるが、895 ドルなので、追加減額は 80 ドル。

ICPE の登録料には年会費が含まれますが、この分を差し引いても、JSPE 会員（年会費は別途支払い）に対しては登録料が相当程度減額されました。

## B. 国際薬剤疫学会（ISPE）会員のメリット

**B1. Web を介した各種教育的資料の利用：**（ISPE の HP の右下の“Learn Remotely”）

①ICPE の前日に行われる preconference courses、ICPE の全体セッション、シンポジウムなどを記録した資料（ビデオ）が Web で利用可能となり、②mid-year meeting（例：2018年4月トロント）の重要なセッションの記録も追加されました。③ISPE 主催の Webinar（1～2カ月に1回程度実施される Web を介した1時間程度のセミナー、通常日本の深夜に開催）の記録（ビデオ）もご利用になれます。

**B2. 上記「B1」資料の教育活動への活用：**

ISPE では上記「B1」の一部を発展途上国における薬剤疫学教育などのために2017年末に一般公開しました。また「B1」の教育的資料のうち通常は会員限定のものについても会員からの要請により非会員に対する教育の場で利用を可能とする試みが予定されています。ISPE のもつ教育的資料のより広い活用を促進するためにも日本の ISPE 会員による積極的な利用が期待されます。

**B3. その他：** ISPE の会誌 Pharmacoepidemiology and Drug Safety（PDS）に掲載された論文のほか、ISPE 会員の連絡先を知るための“Member Directory”をご利用になれます。